

審 議 経 過

No. 1

1. 開会

副館長から配布資料説明

2. 委員長挨拶

委員長から挨拶

3. 議題

(1) 令和5年度事業経過報告について

●事務局から説明後、質疑応答

(委員) 空調設備更新工事の予算はいくらか。また、青山学院大学の実習報告書を見たい。図書館めばえの日に開催された、寺田芳朗氏の講演録が欲しい。

(副館長) 空調設備更新工事の予算については、すべてリース契約で約2億3千万円。月200万円を10年かけて分割で支払う。青山学院大学については図書館実習ではなく、図書館フレンズいまりの活動に関連したまちづくりについての実習であり、図書館としては実習報告書を受領していない。実習報告書を図書館が受領できるかは大学に確認する。寺田氏の講演について、当初は伊万里ケーブルテレビで録画・放映の予定だったが、講演会当日に講師から記録不可の希望があり、記録ができなかった。今後はホールの設備を使つての記録も検討する。

(委員) 寺田氏の講演について補足すると、「今日この場に集まった人たちにだけ話をしたい」という講師からの要望があった。

(副館長) 今後の広報のやり方については考えていきたい。

(館長) 本日欠席の委員より質問を預かっているので代読する。令和5年度のブックスタート事業の実績と今後の展望を知りたい。

(副館長) 今年度4月から1月までの時点で、117組の親子が絵本を受け取っている。今年度の新生児数は未確認だが、昨年度の新生児数を母数とすると117組は全体の37%であり、今後の展望としては、新生児がいる世帯に直接お知らせできるような広報のやり方を考えていきたい。

(委員) 空調設備更新工事費用の月2百万円の費目は図書館費か。

(副館長) お見込みの通り。図書館費の賃借料である。

(館長) 欠席の委員からの質問。第2期伊万里市子ども・子育て支援事業計画が令和6年度で終了し、今後は第3期の計画が進められていく。今後の子育て支援事業計画において、図書館はどのように位置づけられているのか。

(副館長) 第2期伊万里市子ども・子育て支援事業計画に図書館の記述がない。平成14年策定のいまりエンゼルプランには「子どもの生きる力の育成」という項目に図書館の関わりが記述されている。第3期伊万里市子ども・子育て支援事業計画策定時には図書館もしっかり関わってきたい。

(2) 開館30周年に向けた取組について

●事務局から説明後、質疑応答

(委員) 太陽光発電パネルは10年で発電効率が落ちると聞いたことがある。

(館長) 太陽光発電パネルの廃棄問題など聞き及んでいる。今後様々な情報と意見を取り入れながら検討していきたい。

(副館長) この図書館の屋根上に太陽光発電パネルを設置するのは適さないと言われている。駐車場にカーポートの設置を検討している。

(委員) 採算面や耐久年数など検討しながら進めていただきたい。

(委員) 図書館がカーボンニュートラル施設を目指すことを掲げたそもそものきっかけは何か。ハード面だけでなく、利用者が自分の時間を大事にしたり、講演会費用といったソフト面にも予算を使うべきではないか。

(館長) 令和4年度の前澤友作氏からの伊万里市への寄付金1千万円は、図書館のカーボンニュートラル施設化のためについたもので、それが始まり。それは図書館フレンズいまりの役員会でも説明していた。実現の見込みができたため、このタイミングで検討している。ハード・ソフトの両面から図書館としてどう取り組んでいくかを皆さんと考えていきたい。

(委員) 他の委員が述べた通り、人がたくさん集う図書館にしてほしい。

(委員) 予算9千4百万円の内訳は。前澤氏の寄付金は含まれているのか。

(副館長) 財源充当で含まれている。

(委員) カーボンニュートラル施設とは、図書館の敷地内に科学館ができるようなイメージか。

(館長) そのような構想は全くしていない。資料で示した案はあくまで例示である。今の図書館が持っている魅力を生かしていけるようなものにするため、皆さんのご意見をいただきたい。

(委員) 9千4百万円という具体的な金額が出ているので、設計図のような事業概要もできているのか。

(副館長) 具体的な図案ができているわけではない。予算額は先ほど例示したカーポート設置案で試算したもの。

(委員) 予算は太陽光発電パネルと設計委託料に用いるのか。

(副館長) ほぼその2項目である。太陽光発電パネルとその設備に8千7百万円ほどかかる。発電量は3万キロワットを見込んでいる。

(館長) 図書館の全体の電力をまかなうためではなく、環境学習の教育施設としての活用を検討している。

(委員) 今回の事業内容と、市民が願う空間の在り方がどう叶うかが話の焦点ではないかと思う。

(副館長) 環境学習の場をつくるのが今回の目標。改修だけでなく、その後の学びの場をつくるというソフト事業も計画として考えている。現在、学校からの要望があり、SDGsに関するセット貸しを作っている。それも併せて用いた環境学習をしてもらうというソフト面での計画もしている。

(館長) 開館30周年と絡めて話をしたが、この件を令和7年7月7日までに完了させようということではなく、むしろ30周年の折には図書館を今後どのように整備していくのかという方向性を打ち出していきたい。今後、進捗状況を報告しながらまた議論していきたい。

(3) 図書館の設置及び運営上の望ましい基準の見直しについて

●委員から資料配布および説明

(委員) 現基準の現状と課題を把握し、しっかりと見直していくべき。

(館長) 来年度第1回の協議会で諮問したい。

4. 意見交換

5. 委員の任期

●事務局から説明

(副館長) 委員の任期は5月末にて終了となる。どうもお疲れ様でした。感謝申し上げます。役職の関係で交代される委員がいらっしゃれば引き継ぎをお願いしたい。次期の委員は推薦団体などに確認を取りながら進めていくよう計画している。

6. 閉会